

令和 4 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

佐賀県

行事名称	第 69 回文化財防火デー
実施期間・日時	令和 5 年 1 月 29 日(日) 9:00~10:00
実施場所	上幸平 三空庵広場 「木造地藏菩薩立像」
主催者	有田町 有田町教育委員会

■実施内容

訓練の想定

有田町の指定文化財「木造地藏菩薩立像」の所在する上幸平の三空庵広場の地区による掃除で集まった落ち葉の焚火による延焼で出火。地区の住民が発見し初期消火を実施、同時に消防へ通報。山林と木造地藏菩薩立像へ被害・損壊の恐れがあると想定。消防・消防団による放水と、消火栓から距離があるためホースの連結により放水を行った。

訓練の内容

- 1: 発煙筒の煙を火災と想定し、地域住民により火災を発見、**初期消火**後 119 番**通報訓練**。通報を受けた消防署と 2 区の消防団出動により**放水訓練**を実施した。
- 2: 消防署員による、地元住民ならびに一般参加者対象の、消火器の使用法の**実技訓練**を行う。
- 3: 消防署員による各家庭における消防設備等の説明、質疑応答を行う。
- 4: 有田消防署のデモンストレーションとして、**水幕**の披露。有田町では初めての試み。
- 5: 有田町文化財課職員による、今回の防災対象であった町指定文化財「**木造地藏菩薩立像**」の解説を行う。

参加者及び役割分担

有田町教育委員会：広報ならびに参加者への連絡、訓練の進行（ 5 名）
れきみん応援団：避難誘導（ 6 名）
伊万里・有田消防組合：消火活動及び参加者への防火指導・水幕の実演（ 10 名）
有田町消防団：消火活動（有田町消防団 2 区： 14 名）
地区住民：防火訓練の参加、文化財の見学（ 約 30 名）

合計 65 名

特に工夫した点

今回開催した場所が、有田内山地区という伝建地区内にあたり、路地裏の細い路地の先になる。このような場所で火災が発生した場合の対応方法など検討できる防火訓練となった。またデモンストレーションとして実施した水幕は、有田内山のような細い路地が多い場所で、延焼防止を実感できる訓練が出来た。

問題点・課題

路地裏などの場合、大型の消防車両は入ってくることが出来ないため、軽車両またはホースの連結による消火活動になる。通常よりも消火の初動に時間がかかると思われるので、日ごろからイメージをしておいたほうが良いと考える。

今回は移動させることはなかったが、対象となった木造地藏菩薩立像は、簡単に運搬できるものではないため、火災の場合の避難についても念頭に入れなければならない。

その他

毎年文化財防火デーに合わせて、町内の実施地区を変更して消火訓練を実施することで、より多くの文化財所有者、また地元住民の文化財への関心と防災意識を高めていき、今後も継続して実施していきたい。

訓練風景



火災発生



緊急車両



放水訓練



放水訓練



訓練終了式



消火器取り扱い訓練



デモンストレーション 水幕



デモンストレーション 水幕